

令和3年度第1回

音更町健康増進計画推進委員会議案

## 目次

### 1 委員名簿

### 2 音更町附属機関設置条例（抜粋）

### 3 音更町健康増進計画推進委員会規則

### 4 議 件

議案第1号 委員長及び副委員長の選出について

報告第1号 音更町健康増進計画の概要について

報告第2号 音更町健康増進計画の指標の進捗状況について（資料1・2・3）

1 委員名簿

音更町健康増進計画推進委員会委員名簿

(任期 令和3年7月1日～令和5年6月30日)

	区 分	氏 名	所 属
1	保健・医療・ 福祉関係者	あべ いくよ 阿部 郁代	医療法人社団すずらの里 おとふけホームケアクリニック 院長
2	同	くりはら のぶよし 栗原 延好	十勝歯科医師会音更会長
3	同	きむら ちえり 木村 千恵里	帯広第一病院 管理栄養士
4	同	むこうひら なおひろ 向平 尚弘	向平健康堂薬局 薬剤師
5	同	うえだ きみあき 植田 公明	音更町社会福祉協議会副会長
6	同	たかだ てつこ 高田 徹子	地域交流サロン「いきいきサロン」世話人代表
7	社会教育・ 就労関係者	ただの つかさ 只野 司	音更町商工会事務局長
8	同	はやせ みちこ 早瀬 美智子	音更町農協女性部長
9	同	はやし みほ 林 美帆	木野農協女性部副部長
10	同	やまざき やすのり 山崎 靖範	スポーツ推進委員
11	学識経験者	こばやし まさえ 小林 聖恵	帯広大谷短期大学准教授
12	同	おんだ たかし 恩田 喬	音更町老人クラブ連合会副会長
13	公 募	あだち たかのり 安達 崇典	団体職員
14	同	たなか かずこ 田中 和子	主婦
15	同	かとう ちはる 加藤 智昭	機能訓練指導員

## 2 音更町附属機関設置条例（抜粋）

### ○音更町附属機関設置条例（抜粋）

別表

附属機関 の属する 執行機関	附属機関	担任する事項	委員の 定数	委員の 任期
町長	音更町健康増進 計画推進委員会	次に掲げる事項について、審議を 行うこと。 1 健康増進法（平成14年法律第 103号）第8条第2項に規定す る音更町健康増進計画の策定に 関すること。 2 音更町健康増進計画の推進状 況に関すること。	15人 以内	2年

附 則

この条例は、公布の日（平成25年4月26日）から施行する。

### 3 音更町健康増進計画推進委員会規則

#### ○音更町健康増進計画推進委員会規則

##### (設置)

第1条 健康増進法（平成14年法律第103号）第8条第2項の規定に基づく音更町健康増進計画を策定し、その進行状況の検証及び評価を行うため、音更町健康増進計画推進委員会（以下「委員会」という。）を設置する。

##### (委員)

第2条 委員は、次に掲げる者のうちから、町長が委嘱する。

- (1) 保健・医療関係者
- (2) 福祉関係者
- (3) 健康増進施策に関心のある町民
- (4) 学識経験者
- (5) 社会教育・就労関係者
- (6) その他町長が必要と認める者

2 委員は、再任を妨げない。

##### (委員長及び副委員長)

第3条 委員会に委員長及び副委員長を置く。

- 2 委員長及び副委員長は、委員の互選による。
- 3 委員長は、委員会を代表し、会務を総理する。
- 4 副委員長は、委員長を補佐し、委員長に事故あるときは、その職務を代理する。

##### (会議)

第4条 委員会の会議は、委員長が招集し、議長となる。

- 2 委員会は、委員の過半数の出席がなければ、会議を開催することができない。
- 3 委員会の議事は、出席した委員の過半数で決し、可否同数のときは委員長の決するところによる。
- 4 委員長は、必要と認めるときは、委員以外の者に出席を求めて、意見又は説明を聴くことができる。
- 5 委員長は、審議事項につき必要に応じて、委員会に検討組織を置くことができる。

##### (庶務)

第5条 委員会の庶務は、保健福祉部保健センター保健課において行う。

##### (委任)

第6条 この規則に定めるもののほか、委員会の組織及び運営に関し必要な事項は、町長が別に定める。

#### 附 則

この規則は、公布の日（平成25年4月26日）から施行する。

## 議案第1号

委員長及び副委員長の選出について

委員長 阿部 郁代

副委員長 栗原 延好

### ※補足事項

今年度は役員の改選期であり、本来であれば「音更町健康増進計画推進委員会規則」第3条第2項により、委員長及び副委員長の選出は委員の互選によるものとされておりますが、引き続き同じ役職を務めていただくことになりましたのでご了承願います（ご本人了承済み）。

## 令和3年度 保健事業計画

(音更町健康増進計画関係分について掲載)

### 第1節 主要な生活習慣病の発症予防と重症化予防

#### 【がん・循環器疾患・糖尿病】

事業	概要	目的
一般基本健康 診査・特定健康 診査・がん検診 の受診勧奨	<p>【充実】</p> <p>各種健診（検診）の受診率向上のため、対象の年齢や受診行動に合わせて周知方法や内容を工夫し受診勧奨・啓発活動を行う。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・乳幼児健診にて保護者へ申込付啓発チラシを配布</li> <li>・若年層の前年度受診者に対し、継続受診勧奨通知送付</li> <li>・未受診者への郵便による受診勧奨</li> <li>・40歳前勧奨通知（38・39歳）</li> <li>・健康意識の高い層が集まる場所（スポーツジム・体育館等）に検診チラシ・ポスターの掲示</li> </ul>	<p>各種健診（検診）の受診率向上を図り、早期発見、疾病の重症化予防に努める。</p>

### 第2節 社会生活を営むために必要な機能の維持・向上

#### 【高齢者の健康】

事業	概要	目的
高齢者一体的 保健事業	<p>【新規】</p> <p>生活習慣病の重症化予防や介護予防、フレイル予防のため、事業についての企画・調整・分析・評価をするとともに、地域において個別指導や通いの場への積極的関与の支援を行う。</p>	<p>高齢者の心身の多様な課題に切れ目なく、きめ細かな支援を実施するため、介護予防事業と保健事業を一体的に実施する。</p>

## 令和元年度～令和4年度 指標の進捗状況

資料1

分野	項目	中間評価		R元年度		R2年度		R3年度		R4年度		目標値		
		時点	数値	時点	数値	時点	数値	時点	数値	時点	数値	時点	数値	
がん	①悪性新生物の標準化死亡比の減少													
	SMR	H29年	男性 92.6 女性 101.8										H35	減少
	②がん検診受診率の向上													
	胃がん	H29年度	男性 7.4% 女性 8.1%	H30年度	男性 7.2% 女性 8.0%	R元年度	男性 6.9% 女性 8.0%	R2年度	男性 5.8% 女性 7.0%				H35年度	40.0%
	肺がん	H29年度	男性 4.8% 女性 5.3%	H30年度	男性 4.8% 女性 5.4%	R元年度	男性 5.0% 女性 5.8%	R2年度	男性 6.4% 女性 7.5%				H35年度	40.0%
	大腸がん	H29年度	男性 5.2% 女性 5.6%	H30年度	男性 4.9% 女性 5.8%	R元年度	男性 5.0% 女性 5.7%	R2年度	男性 5.8% 女性 6.8%				H35年度	40.0%
	子宮頸がん	H29年度	18.5%	H30年度	20.4%	R元年度	20.2%	R2年度	18.8%				H35年度	50.0%
乳がん	H29年度	21.2%	H30年度	22.4%	R元年度	22.3%	R2年度	20.2%				H35年度	50.0%	
循環器疾患	①脳血管疾患・虚血精神疾患の標準化死亡比の現状維持													
	脳血管疾患	H18-H27	男性 62.3 女性 58.7											現状維持
	虚血性心疾患	H18-H27	男性 106.5 女性 84.0											現状維持
	②高血圧の改善													
	160/100以上の未治療者の減少	H29年度	50.0%	H30年度	54.2%	R元年度	51.0%	7月末時点	※54.0%					減少
	③脂質異常症の減少													
	LDL160mg/dl以上の者の減少	H29年度	9.95%	H30年度	10.9%	R元年度	10.5%	7月末時点	※10.3%					減少
④メタボリックシンドロームの該当者及び予備群の減少														
該当者及び予備群	H29年度	31.3%	H30年度	30.5%	R元年度	30.8%	7月末時点	※33.1%					減少	



分野	項目	中間評価		R 元年度		R2 年度		R3 年度		R4 年度		目標値	
		時点	数値	時点	数値	時点	数値	時点	数値	時点	数値	時点	数値
循環器疾患	⑤特定健康診査・特定保健指導の実施率の向上												
	特定健康診査実施率	H29 年度	47.8%	H30 年度	48.5%	R 元年度	45.6%	6 月末時点	※42.1%			H35 年度	60.0%
	特定保健指導実施率	H29 年度	69.8%	H30 年度	71.3%	R 元年度	92.1%	6 月末時点	※43.6%			H35 年度	75.0%
糖尿病	①合併症（糖尿病性腎症による年間新規透析導入者数）の減少												
	新規透析導入者数	H29 年度	5 人	H30 年度	6 人	R 元年度	6 人	R2 年度	11 人			H35 年度	減少
	②治療継続者の割合の増加												
	治療継続者	H29 年度	73.8%	H30 年度		R 元年度		R2 年度				H35 年度	増加
	③血糖コントロール指標におけるコントロール不良者の割合の減少（HbA1c が JDS 値 8.0 (NGSP 値 8.4%) 以上の者の割合の減少）												
	コントロール不良者の割合	H28 年度	1.8%	H30 年度	1.6%	R 元年度	0.9%	7 月末時点	※0.7%			H35 年度	現状維持
④糖尿病有病者の増加の抑制													
糖尿病有病率	H29 年度	9.1%	H30 年度	9.5%	R 元年度	9.5%	R2 年度	10.1%			H35 年度	減少	
COPD	COPD 認知度の向上	H29 年度	39.2%									H35 年度	増加
次世代の健康	①適正体重を維持している者の増加（肥満、やせの減少）												
	20 歳代女性のやせの者の割合	H30 年度	17.2%									H35 年度	現状維持
	全出生数中の低出生体重児の割合の減少	H29 年度	10.4%	H30 年度	7.0%	R 元年度	9.7%	R2 年度	7.4%			H35 年度	減少傾向
	肥満傾向にある子供の割合の減少（小学校 5 年生の肥満傾向）	H29 年度	男子 13.6% 女子 10.3%	H30 年度	男子 8.2% 女子 13.0%	R 元年度	男子 14.5% 女子 6.6%	R2 年度	男子 16.7% 女子 14.0%			H35 年度	減少傾向

分野	項目	中間評価		R 元年度		R2 年度		R3 年度		R4 年度		目標値	
		時点	数値	時点	数値	時点	数値	時点	数値	時点	数値	時点	数値
高齢者の健康	①介護保険サービスを必要とする者の増加の抑制												
	要介護(要支援)認定数	H28 年度	2,194 人	H29 年度	2,320 人	H30 年度	2,414 人	R 元年度	2,446 人			H32 年度	2,748 人
	②ロコモティブシンドロームを認知している町民の割合												
	認知率	H30 年度	23.6%									H35 年度	増加
	③BMI20 以下の高齢者の割合の抑制												
	BMI20 以下	H29 年度	13.4%	H30 年度	14.1%	R 元年度	13.6%	7 月末時点	※13.6%			H35 年度	現状維持又は減少
④認知症サポーター数の増加													
養成数(累計)	H29 年度	5,642 人	H30 年度	6,407 人	R 元年度	7,228 人	R2 年度	7,315 人			H35 年度	増加	
生活習慣の改善	【栄養・食生活】												
	①適正体重を維持している者の増加(肥満 BMI25 以上)、やせ(BMI18.5 未満)の減少												
	20 歳～60 歳代男性の肥満者の割合	H30 年度	37.4%									H35 年度	減少
	40～60 歳代女性の肥満者の割合	H30 年度	21.3%									H35 年度	現状維持
	②適切な量と質の食事を取る者の増加												
	ア 主食・主菜・副菜を組み合わせた食事が、1 日 2 回以上の日がほぼ毎日の者の割合の増加												
ほぼ毎日の者	H30 年度	43.2%									H35 年度	増加	
イ 野菜と果物の摂取量の増加													
野菜摂取量 1 日 300g 以上の者の割合	H30 年度	11.9%									H35 年度	増加	

分野	項目	中間評価		R 元年度		R2 年度		R3 年度		R4 年度		目標値		
		時点	数値	時点	数値	時点	数値	時点	数値	時点	数値	時点	数値	
生活習慣の改善	果物摂取量 100g 未満者の割合	H30 年度	47.4%									H35 年度	減少	
	【身体活動・運動】													
	運動習慣がある者の割合の増加													
	20 歳～64 歳	H30 年度	24.6%										H35 年度	増加
	【休養】													
	①睡眠による休養を十分に取れていない者の割合の減少													
	割合	H30 年度	37.7%										H35 年度	減少
	【飲酒】													
	①生活習慣病のリスクを高める量を飲酒している者(1日当たりの純アルコール摂取量が、男性 40g 以上、女性 20g 以上)の割合の減少													
	男性・女性	H30 年度	男性 18.7% 女性 10.4%										H35 年度	男性 15.9% 女性 10.4%
	②妊娠中の飲酒をなくす													
	妊婦の飲酒率	H29 年度	1.2%	H30 年度	1.0%	R 元年度	0.5%	R2 年度	0.8%				H35 年度	0%
	【喫煙】													
	①成人の喫煙の減少率(喫煙をやめたい者がやめる)													
	成人の喫煙率	H30 年度	24.6%										H35 年度	減少
②妊娠中の喫煙率をなくす														
妊婦の喫煙率	H29 年度	4.2%	H30 年度	5.6%	R 元年度	4.6%	R2 年度	4.5%				H35 年度	0%	
③受動喫煙(家庭)の機会を有する者の割合														
家庭の割合	H30 年度	22.5%										H35 年度	減少	

分野	項目	中間評価		R 元年度		R2 年度		R3 年度		R4 年度		目標値		
		時点	数値	時点	数値	時点	数値	時点	数値	時点	数値	時点	数値	
生活習慣の改善	【歯・口腔の健康】													
	①歯の喪失防止													
	7 60歳で24歯以上自分の歯を有する者の割合	H30 年度	45.4%										H35 年度	増加
	1 40歳で喪失歯の無い者の割合の増加	H30 年度	68.1%										H35 年度	増加
	②乳幼児でう蝕のない者の割合の増加													
	3 歳児健診でう蝕の無い者の割合の増加	H29 年度	88.1%	H30 年度	90.3%	R 元年度	89.9%	R2 年度	92.6%				H35 年度	90%以上
こころの健康	自殺者の減少	H24~H28の平均	5人	H25~H29の平均	5人	H26~H30の平均	4.4人	H27~H31の平均	4.4人	H28~H32の平均		H29~H33の平均	3.5人	
	平均自殺率		11.1%		11.0%		9.7%		9.7%				7.8	
	睡眠で疲れが取れていない人の割合【再掲】	H30 年度	37.7%										減少	
	ストレスを大いに感じている人の割合	H30 年度	25.1%										減少	

※マルチマーカー（健診データ分析ソフトウェア）にて抽出

第1節 主要な生活習慣病の発生予防と重症化予防

1 がん・循環器疾患・糖尿病・COPD

事業	が ん	循 環 器	糖 尿 病	C O P D	令和3年度計画	担当課
集団健診(検診) (胃がん・肺がん・大腸がん検診)	○				【拡充】健診(検診)毎に対象年齢や受診行動に合わせて周知方法や内容を工夫し、啓発を強化していく。(乳幼児健診にて保護者へ申込付チラシ配布・保育園等の保護者へチラシ配付。未受診者へ過去の受診履歴を同封し郵便による受診勧奨・40歳前勧奨通知・前年度受診者への継続受診勧奨通知など)	保健課
特定健診・特定保健指導		○	○			保健課
一般基本健診		○	○			保健課
女性のがん検診	○					保健課
ピロリ菌検査	○				継続実施	保健課
肝炎ウイルス検査	○				継続実施	保健課
脳ドック		○	○		【拡充】実施医療機関の拡大	保健課
がんドック	○	○	○		継続実施	保健課
乳がんドック	○				継続実施	保健課
人間ドック	○	○	○		継続実施	保健課
呼吸器ドック				○	継続実施	保健課
歯周病検診			○		継続実施	保健課
健康教育	○	○	○		継続実施	保健課
がん予防の周知・啓発	○				継続実施	保健課
おとふけヘルスケアポイント	○	○	○		【拡充】多くの人に利用してもらえるようポイント内容や構成の変更実施	保健課
健診結果説明会		○	○		継続実施	保健課
重症化予防のための保健指導		○	○		継続実施	保健課
糖尿病性腎症重症化予防プログラムの作成			○		継続実施	保健課
健康相談・栄養相談		○	○		継続実施	保健課
家庭訪問		○	○		継続実施	保健課
母子健康手帳の交付			○		継続実施	保健課
パパママ教室			○		継続実施	保健課
乳幼児健康診査			○		継続実施	保健課
COPDについての周知・啓発				○	継続実施	保健課
禁煙の支援				○	継続実施	保健課
公共施設の禁煙	○			○	継続実施	保健課

## 第2節 社会生活を営むために必要な機能の維持・向上

### 1 次世代の健康

事業	令和3年度計画	担当課
母子健康手帳の交付	継続実施	保健課
妊婦一般健康診査	継続実施	保健課
パパママ教室	継続実施	保健課
栄養指導の実施	継続実施	保健課
乳幼児健康診査	継続実施	保健課
家庭訪問	継続実施	保健課
健康教育	継続実施	保健課
肥満傾向児の実態把握	継続実施	保健課
情報交換会の開催	継続実施	保健課
体格測定表の活用・配布	継続実施	保健課

### 2 高齢者の健康

事業	令和3年度計画	担当課
後期高齢者健康診査	継続実施	保健課
骨粗しょう症検診	継続実施	保健課
健康教育	継続実施	保健課
成人インフルエンザ予防接種の実施	継続実施	保健課
高齢者肺炎球菌予防接種の実施	継続実施	保健課
あたまの健康チェックテスト	継続実施	保健課
フレイル・オーラルフレイル予防についての知識の普及	継続実施	保健課
口腔機能評価の実施	継続実施	保健課
体力・認知力測定会の実施	新型コロナウイルス感染拡大防止のためR3年度は中止	保健課
認知症サポーターの養成	継続実施	高齢者福祉課
一般介護予防事業「あすなろクラブ」の実施	継続実施	保健課
介護予防運動教室「地域まるごと元気アッププログラム」の実施	継続実施	保健課
高齢者一体的保健事業の実施	【新規】健診、介護、医療費データを活用し介護保険事業と国保保健事業を一体的に実施する。	保健課

第3節 栄養・食生活、身体活動・運動、休養、飲酒、喫煙及び歯・口腔の健康に関する生活習慣及び社会環境の改善

1 栄養・食生活

事業	令和3年度計画	担当課
母子健康手帳の交付	継続実施	保健課
パパママ教室	継続実施	保健課
乳幼児健康診査	継続実施	保健課
栄養指導の実施	継続実施	保健課
離乳食教室の開催	継続実施	保健課
健康教育の実施	継続実施	保健課
健診結果説明会の実施	継続実施	保健課
重症化予防のための保健指導	継続実施	保健課
食生活に関する正しい知識の普及・啓発	継続実施	保健課
フレイル・オーラルフレイル予防についての知識の普及	継続実施	保健課

2 身体活動・運動

事業	令和3年度計画	担当課
スポーツの機会や場所の情報提供	継続支援	保健課
健康教育の実施	継続実施	保健課
介護予防教室の充実	継続実施	保健課

3 休養

事業	令和3年度計画	担当課
乳幼児健康診査・相談	継続実施	保健課
休養に関する周知・啓発	継続実施	保健課

4 飲酒

事業	令和3年度計画	担当課
飲酒のリスクに関する教育・啓発	継続実施	保健課
適正飲酒に関する保健指導	継続実施	保健課

5 喫煙

事業	令和3年度計画	担当課
たばこのリスクに関する教育・啓発	継続実施	保健課
禁煙の支援	継続実施	保健課
公共施設の禁煙	継続実施	保健課

## 6 歯・口腔の健康

事業	令和3年度計画	担当課
妊娠期の口腔衛生・歯周病予防	継続支援	保健課
乳幼児歯科健診の実施	継続実施	保健課
歯みがき教室の実施	継続実施	保健課
幼児フッ化物塗布の実施	継続実施	保健課
フッ化物洗口の実施	継続実施	保健課
親子歯みがき教室の実施	継続実施	保健課
歯周病検診の実施	継続実施	保健課
口腔機能評価の実施	継続実施	保健課
口腔機能向上事業の実施	継続実施	保健課
フレイル・オーラルフレイル予防についての知識の普及	継続実施	保健課

## 第4節 生きることの包括的な支援による、誰も自殺に追い込まれることのない地域社会の実現

### 1 こころの健康

事業	令和3年度計画	担当課
ネットワークの強化	継続実施	保健課
相談体制の充実	継続実施	保健課
ゲートキーパー研修会の実施	継続実施	保健課
産後ケア事業の実施	継続実施	保健課
うつ病及び自殺等のこころの健康に関する正しい知識の普及・啓発	継続実施	保健課
こころの体温計	継続実施	保健課
こころの健康講演会の開催	継続実施	保健課
一般介護予防事業（「あすなろクラブ・地域まるごと元気アップ教室」の実施）	継続実施	保健課
障がい者等通院等交通費の助成	継続実施	福祉課
精神通院医療の給付	継続実施	福祉課
精神障害者保健福祉手帳の交付	継続実施	福祉課
成人式での啓発	継続実施	保健課
生きるを支えるハンドブックの作成と配付	継続実施	保健課
子ども・若者に対する、自己理解やSOSの出し方等に関する普及啓発	継続実施	保健課



(1) 報告第1号 音更町健康増進計画の指標の進捗状況について

報告する数値は、国に報告した数値と国、道が公表している数値のほか、一部健診データ分析ソフトの数値を元に記載しています。

<がん・循環器疾患・糖尿病>

令和2年度はがん検診では、胃がん、子宮がん、乳がん検診の受診率が低下し、肺がんと大腸がん検診の受診率が上昇しました。新型コロナウイルス感染症の影響により、集団・個別検診とも受診数の減少がみられましたが、新規に実施した肺がん個別検診では3か所の医療機関において380人の受診がありました。

特定健診受診率、特定保健指導実施率はまだ確定値ではないものの、受診数は減少しています。

<次世代の健康・高齢者の健康>

低出生体重児の割合は、減少しています。

肥満傾向にある子どもの割合は、前年度に比べ、男女共に増加しています。

<栄養・休養・食生活・喫煙等の生活習慣、心の健康>

妊婦の飲酒率はほぼ横ばい、喫煙率は減少しています。

(2) 令和3年度保健事業の展開について

計画に基づき実施する保健事業のうち、新規・拡充を行う事業は以下のとおりです。

第1節 主要な生活習慣病の発生予防と重症化予防の分野

特定健康診査・一般基本健康診査・各種がん検診等の受診率向上に向けた取組を継続し、循環器疾患や糖尿病の発症や重症化予防のための保健指導・栄養指導に力を入れていきます。

第2節 社会生活を営むために必要な機能の維持・向上の分野

高齢者に対して、生活習慣病の重症化予防、介護予防、フレイル予防への支援を一体的に行う高齢者一体的保健事業を実施します。健診・介護・医療費データを活用し、支援が必要なハイリスク者を抽出し個別アプローチを行うほか、介護予防教室や地域サロン等の通いの場を活用したポピュレーションアプローチを行います。